

参加対象 教員および教育関係者

定員 100名(定員になり次第締め切ります。)★申込受付後に、振込先を通知いたします。

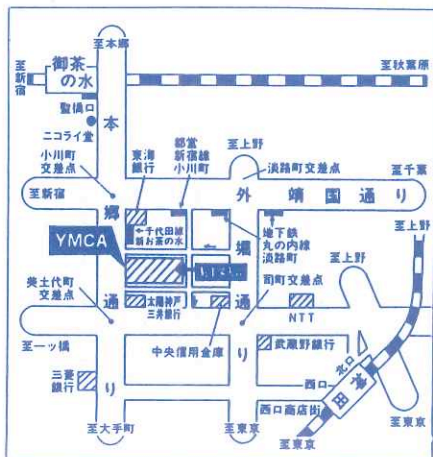
参加費 一般

7,000円

日本国際理解教育学会会員

東京YMCA国際奉仕センター維持会員

国際理解教育・資料情報センター(ERIC)研究会員 4,000円



■東京YMCA国際奉仕センター

JR

- 神田駅 出口(西口、北口)
- 御茶の水駅 出口(聖橋口)

地下鉄

- 丸の内線 淡路町駅 出口(A-2・A-4)
- 千代田線 新お茶の水駅 出口(B-6)
- 都営新宿線 小川町駅 出口(A-6)
- 銀座線 神田駅 出口(北口)

★参加ご希望の方は、別紙の申込書にご記入の上、下記の住所宛にお送りください。
〒150 東京都渋谷区神南1-22-8 渋谷東日本ビル9F 日本国際理解教育学会「グローバル・セミナー」係 ☎03-3770-7307

後援 文部省、全国高等学校校長協会、東京都教育委員会、
全国高等学校国際教育研究協議会、開発教育協議会、
帝塚山学院大学院国際理解研究所

開催日程 1994年11月26日(土)~11月27日(日)
会場 東京YMCA国際奉仕センター 東京都千代田区神田美土代町7-1 ☎03-3293-7011

主催 日本国際理解教育学会
国際理解教育・資料情報センター(ERIC)
東京YMCA国際奉仕センター

1994.11.26-27 SEMINAR

国際理解教育研修プログラム「私から始まる国際理解教育—自己理解と参加—」

GLOBAL

〔開催主旨〕

ますます深刻さを増す環境問題や格差が広がるばかりの南北問題など、地球規模で解決しなければならないさまざまな課題が山積みする現在、一人ひとりが「地球市民」として自覚を持って考え行動することが強く求められています。このような状況を背景に、教育の国際化が叫ばれ、英語教育や帰国子女教育などの実践が行われていますが、1974年のユネスコ国際教育勧告がいうところの、環境、人権、開発、平和等の分野をカバーした広い意味での国際理解教育の取り組みは、現在の日本において未だ十分に行われているとはいえません。

一方、イギリス、オランダ、オーストラリア、アメリカなどでは、教育現場（学校教育、社会教育）でさまざまな形の国際理解教育が展開されており、その実績には目をみはるものがあります。それらの成果の一部は日本にも紹介されるようになりましたが、必ずしも十分ではありません。

このような状況のもとに、国際理解教育に関わる国内の人的ネットワークと研究・実践の促進を主な目的として1991年1月に設立された日本国際理解教育学会、青少年育成・国際協力活動等社会教育の推進に110余年の歴史をもつ東京YMCA、そして内外の実践紹介を中心に、国際理解教育の情報提供および研修を実施している国際理解教育・資料情報センター(ERIC)の三団体が協力して、真の「地球市民」を育てる教育方法を学ぶ研修を実施することになりました。

今回のセミナーは、海外の国際理解教育の実践者から直接話を聞くだけでなく、模擬授業の形で体験を通して、その内容を十分に吸収理解し、日本での実践への道を探ろうというものです。そしてさらに、このような研修の積み重ねを核に、日本における国際理解教育の内容を深め、その普及を推進しようというものです。

PROGRAM

11月26日(土)

13:00 受付開始

14:00~15:00

関係団体からのメッセージ
「国際理解教育への期待」
日本国際理解教育学会／国際理解教育・資料情報センター(ERIC)／東京YMCA国際奉仕センター

15:00~17:30

研修Ⅰ 全体学習
「国際理解教育とは何か」
コーディネーター：角田尚子

18:00~20:00

ネットワークを兼ねた交流会
異文化間コミュニケーション体験ゲーム
「クスクス」
ファシリテーター：向 謙治郎

11月27日(日)

9:00~12:00

研修Ⅱ 分科会形式
「私から始まる国際理解教育-ME, YOU AND OTHERSの著者を迎えて」
コーディネーター：
エリザベス・キャリスター

13:00~15:00

研修Ⅲ 分科会形式
「国際理解教育推進のための枠組作り」
①小学校 ②中学校 ③高校 ④社会教育
コーディネーター：稲垣有一

15:00~16:00

クロージング

GLOBAL SEMINAR

●講師紹介

エリザベス・キャリスター

(ELIZABETH CALLISTER)

オーストラリア、ニューサウスウェルズ州教育委員会教育政策主任

プログラムの評価および管理責任者

社会科学および健康教育についての教授、特に人間形成、人間関係教育についての著書多数。自己受容および人間関係の大切さを教える教材「私、あなた、そしてみんな」(ME, YOU AND OTHERS, 1988) およびそのPART II (1990) の共著者。この秋には、「ニューサウスウェルズ州の学校における環境教育についての評価」を出版予定。エイズに関する教育にも携わり、「ニューサウスウェルズ州の中学生のエイズについての知識と態度」(1991年)の著書がある。

角田 尚子

国際理解教育・資料情報センター(ERIC)事務局長

大阪大学人間科学研究科博士課程修了

グリーンピース・ジャパン(元代表)

企画委員としてERICの設立からかかわる。

1994年4月から事務局長。

向 謙治郎

オープン・ドア日本協会代表

慶応義塾大学社会学研究科博士課程(学習心理学専攻)修了。現在、(株)日本通訳協会代表、

カテナ文際交流センター所長、「箱根会議」事務局長などを兼任。国際交流担い手ネットワーク作りに専念中。

稲垣 有一

大阪市立平野小学校教諭。ワールドスタディーズを創る会運営委員。1967年、奈良教育大学卒業。大阪市教育センター所員をへて、(元)全国同和教育研究協議会事務局次長。